

愛西市男女共同参画推進懇話会 会議録

会 議 名	令和4年度 第1回 愛西市男女共同参画推進懇話会
開 催 日 時	令和4年6月29日（水）午後2時から午後4時まで
開 催 場 所	愛西市役所南館 2階 会議室2-5
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	0人
協 議 事 項 等	<p>●協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 役員選出について 2 令和3年度の実施状況について 3 令和4年度の取り組みについて 4 意見交換「家庭での男女共同参画を推進するには」 5 その他
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	0人
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 令和4年度 愛西市男女共同参画推進懇話会委員名簿 ・ 資料1 愛西市男女共同参画推進懇話会 会議運営要領 ・ 資料2 愛西市男女共同参画推進懇話会設置要綱 ・ 資料3 第3次愛西市男女共同参画プラン 目標指標進捗管理 ・ 資料4 第3次愛西市男女共同参画プラン事業評価シート ・ 資料5 令和3年度の取り組みについて ・ 資料6 第4次男女共同参画プラン実施計画 ・ 資料7 令和4年度の取り組みについて ・ 資料8 他市町の取り組み ・ 資料9 意見交換 ・ ママ・ジョブ・あいち出張相談チラシ
審 議 経 過	別紙のとおり

男女共同参画推進懇話会委員

役 職	氏 名	備 考
会長	日 置 雅 子	愛知県立大学名誉教授
副会長	若 山 壽 雄	愛西市人権擁護委員会 会長
委員	山 田 彰 子	愛西市女性の会 会長
委員	石 原 一 孝	愛西市総代会 会長
委員	照 井 緑	愛西市PTA連絡協議会
委員	加 藤 明 実	愛西市商工会
委員	大 江 千 恵 子	人材育成セミナー修了生
委員	吉 本 貴 代 子	公募委員
委員	大 野 志 織	公募委員

事務局

役 職	氏 名	備 考
市民協働部長	人 見 英 樹	
市民協働課長	丹 羽 久 美	
市民協働課課長補佐	渡 邊 志 保	
市民協働課主事	今 田 茉 里	

審議経過

発言者	内容（概要）
市民協働課長	<p>あいさつ</p> <p>〈市民協働課長あいさつ〉</p> <p>この会議については、「愛西市審議会等の会議公開に関する要綱」に基づき、「愛西市男女共同参画推進懇話会 会議運営要領」を定め、公開とします。なお、本日の傍聴希望者はございませんでした。</p> <p>それでは、開会にあたり、市民協働部長の人見よりごあいさつを申し上げます。</p>
市民協働部長 市民協働課長	<p>〈市民協働部長あいさつ〉</p> <p>続きまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>〈資料の確認〉</p> <p>〈各委員の自己紹介〉</p>
市民協働課長	<p>1. 役員選出について</p> <p>次第1の「役員選出について」を議題とします。愛西市男女共同参画推進懇話会設置要綱第4条により、懇話会には会長、副会長を置くことになっています。会長は、委員の互選で定めることとなっています。また、副会長は、会長からの指名となっております。</p>
委員	<p>初めに会長の選出をお願いします。立候補、もしくはご推薦はありますか。</p> <p>愛知県立大学名誉教授である日置雅子さんを推薦いたします。</p>
市民協働課長	<p>ただいま、日置委員の推薦がございました。ご異議ございませんか。</p> <p>〈異議なし〉</p>
市民協働課長	<p>会長は、日置委員にお願いすることといたします。引き続き、副会長の選任を行います。副会長は、会長の指名となっておりますので、会長さん、ご指名をお願いいたします。</p>
会長	<p>愛西市人権擁護委員会の会長を務めておられる若山委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>〈異議なし〉</p>
市民協働課長	<p>日置委員から若山委員にとの発言がありましたので、若山委員、副会長をお願いします。</p>
市民協働課長	<p>席の移動後、会長、副会長のお二人からご挨拶をお願いします。</p>
会長	<p>〈会長あいさつ〉</p>
副会長	<p>〈副会長あいさつ〉</p>
市民協働課長	<p>ここからは会長の進行でお願いします。</p>
会長	<p>2. 令和3年度の実施状況について</p> <p>続きまして、次第2「令和3年度の実施状況について」を議題とします。</p>
事務局	<p>事務局、説明願います。</p>
事務局	<p>〈資料3～5を利用して説明〉</p>
会長	<p>ただいま、事務局から令和3年度の実施状況について報告がありましたが、</p>

会長	何かご質問などはありますでしょうか。
事務局	<p>令和3年度の取組のうち、市役所における男性の育児休業取得率が大きく上がったのが気になりましたが、何かきっかけはあったのでしょうか。昨年度に育児・介護休業法が改正されて段階的に施行されていくこととなりましたが、それ以前から何か取組をされていたのか、組織内で育児休暇をとることへの意識の変化等があったのか、何か理由はありますか。</p> <p>育児休暇については、人事課が取り組んでいます、対象者への案内を積極的にしていると聞いています。子育て&介護応援ガイドブックを作成し、対象者に声掛けしたことが成果につながったと思います。また、先に育児休業を取得した者の話を聞いて意識が変化し、自分も取ろうと考える職員が増えたのだと思います。</p>
会長	この4月1日から、職員が育児休暇をとれるように、男性であれ女性であれ妊娠が分かった場合、声掛けをし、意向確認をすることが義務付けられました。愛西市も昨年度の段階から働きかけを行っていたようで安心しました。
委員	<p>資料4をみると、だれでも安心して暮らせるまちづくりの事業は、半数以上がよく取り組めたとのことで、自分の精神的・身体的な健康についての意識が高い人が多いということが分かります。</p> <p>身体的な健康診断などは連絡も来るし皆さんが受けますが、精神的な検査や相談についてはなかなか難しいように思うので、そういった取り組みがあれば注目していきたいです。</p> <p>立場上人権に関する相談を聞くことが多いのですが、やはり精神的な悩みを抱えている方は、誰かに思いを相談することですっきりとされる場合もあります。話すことで誰かと関わりを持ちたい方が多いのだと思います。</p>
会長	<p>3. 令和4年度の取り組みについて</p> <p>続きまして、次第3「令和4年度の取り組みについて」を議題とします。事務局、説明願います。</p>
事務局	〈資料6～8を利用して説明〉
会長	ただいま、事務局から令和4年度の取り組みについて報告がありましたが、何かご質問などはありますでしょうか。
会長	資料6の内容について、今年度特に力を入れていくものや、目玉の事業というものはありますか？
事務局	市民協働課としての取り組みは多数あり、今すぐ出来るものやもう何を実施するか決まっているものもあります。サテライトセミナーの開催や、ホームページの充実、再就職を考えている女性に向けての出張相談を予定しています。出張相談は、今年度初めて行う事業なのですが、愛知県と連携して行います。県内では実施事例があるのですが、愛西市では行っていなかったため、雇用支援関係の事業として行う予定です。この事業は、来年度以降も継続していければと思っています。
委員	実施計画に記載されている取り組みは膨大で、すべてが今年度実施できるのかわからないので、優先順位をつけて今年の取り組みを絞り込んでいった

事務局	<p>方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>5年間のプランということになりますので、すべてを今年やろうというわけではなく、今年は何をやるかを考えて、来年、再来年に実際に行うというようにもしていければと考えています。</p>
会長	<p>プラン策定時に重点項目を決めていませんので、優先順位をつけるのは難しいですね。</p>
事務局	<p>プランをお持ちの方は52ページを見ていただきたいのですが、プランの基本目標と基本施策、目標指標、現在の実績値と目標値が記載されています。こちらにあるように、このプランは5年かけて目標値を目指すというものになりますので、毎年各担当課が行う事業を決めて、この数値を上げるために取り組みを行っていくこととなります。確かに、今までもやるのが膨大ですべてができているとは言えない状況です。</p>
会長	<p>今年はこのテーマ、来年はこのテーマ、と絞り込めればとは思いますが。「何をするか」ということを委員の皆さんと相談していければと思います。</p> <p>プランそのものは、男女共同参画に関する事柄を網羅的に盛り込んでいますので、それぞれの担当者だけで全部やるというものではないです。全庁的に取り組んでいくべきだと思いますし、ジェンダーの問題はどの部局でも関わることです。市民協働課でやれることと、他課に頼むこと、それを分けて、今年は市民協働課ではこれをやる、他課の事業でも弱いところは依頼をして力を入れていただく、そういうようにやっていければと思います。</p> <p>何をやりたいかという思いがある事業をやっていければいいと思いますので、委員の皆さんも、こういったところに力を入れてほしいということがあればご意見をお願いします。特に若い世代の意見を多く取り入れて、市民の方に市の取り組みを発信していければと思います。</p>
委員	<p>啓発活動をするという取り組み一つでも、例えば学校全体ではなく学年を絞り込んで、一学年の生徒に向けて啓発をするというように依頼するのも良いと思います。子どもに向けてやってみることで、子供が学習して力を身につけ、ひいては若い世代が発言できるような土台作りにつながると思います。</p> <p>若い人を集めて発信する、というのはなかなか難しいので、学校という場を使って、子どもやその親御さんにも発信ができるとういのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>今回の実施計画を見て、市がこんなにたくさんの事業を行っていることをお恥ずかしながら初めて知りました。市のSNSなどは時々見ているのですが、取り組みを知ってもらうためにこういった情報をもっと発信するようにされてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>私も自身の家庭の状況などを顧みてみると、若い世代への教育により、意識を変えていくというのは大事だと思います。</p> <p>小さなことではありますが、自身が参加している自治会でも、役職者は男性ばかりだったので、役職を出来そうな女性たち本人に直接お願いし、役職についてもらったことがあります。もちろんみんなでサポートし、その方も頑張られてしっかり役職を務めてもらうことができました。その年はうまく</p>

<p>会長</p>	<p>できなかった方もいらっしゃいましたが、今回の経験を生かして再挑戦したいと翌年も役職を継続して引き受けてくださる方もいて、やってもらって良かったなあと活動のヒントを得ることもできました。</p> <p>身近なことではありますが、そういったことを重ねていくことで男女共同参画を進めていくことにつながると感じました。</p> <p>ただ立候補を促したり、声掛けをするだけでは、なかなか前には出られないという女性もまだまだ多いですから、そうやって積極的に推進していくということも必要なことですね。</p>
<p>委員</p>	<p>私は女性団体に所属していますが、やはり性別の壁はまだ大きく感じます。女性は女性で、男性は男性で、という意識があると、男性社会の中に参加していくことを難しく感じてしまう人もまだいるので、そこが難しいです。</p>
<p>委員</p>	<p>私は商売の世界にいますが、商売では女性も男性も関係ないと感じています。広報で紹介のあった「輝く女性」の方もそうですが、起業する女性が増えていると思います。そういう力のある女性をはじめとする若い世代に向けて啓発をしていくのは私も大切だと思います。</p> <p>先ほどご意見のあったように、若い世代へ啓発するのであればSNS等を活用して情報を発信する必要性は強く感じます。</p>
<p>委員</p>	<p>私は普段は子育て関係の部署と関わりを持つことが多いですが、愛西市の子育て支援は他市と比較しても手厚いと感じています。ですが、やはり市民の方は制度をご存じないことが多いです。そういった点から、SNSでの情報発信は積極的にするべきだと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私は子育て世代ですが、私が子どもの頃も男性優位だと感じていたが、プランのアンケート結果で、最近の小中学生ですら未だに男性優位と感じている子が何割かいると知り、ショックを受けました。</p>
<p>委員</p>	<p>男女平等だという教育は進んでいるとは思いますが、やはり若い世代への教育に力を入れてほしいです。</p> <p>女性が働く時代となったが、努力しているのに正当に認めてもらえない、という思いをしている若い女性がたくさんいる。一気にこれを変えるということは難しいかもしれませんが、徐々に徐々に、啓発活動等を通じて、これを変えていきたいですね。</p>
<p>委員</p>	<p>身近なところであった話ですが、両親が共働きのご家庭で子どもが小学校に上がる際に、どちらが子どもの面倒をみるかで話し合いになり、結果母親が退職することになったと聞きました。学童等の制度はありますが、育児をしながら正規で母親が働くのが難しいという現状があるあります。そういった状況で頼れる場所がなかったことが原因です。女性が仕事を諦めずに活躍できる時代になってほしいです。</p>
<p>会長</p>	<p>4. 意見交換「家庭での男女共同参画を推進するには」</p> <p>続きまして、次第4の意見交換に移りたいと思います。事務局、説明願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>〈資料9を利用して説明〉</p>

B 班意見	<p>〈A 班・B 班に分かれて意見交換、発表〉</p> <p>①男性社会になっている状況が強い。男女間で意識の差がずいぶんあるが、若い世代になるにつれ、男性がそういった教育を受けている状況となってきたている。</p> <p>②女性の地位が複雑で、確立されていない。親の存在が大きくて、昔からの流れが大きく影響している。最近は IT やアプリ等を活用した教育が盛んになってきているので、そういったものを活用すれば状況の変革につながるのではないか。</p> <p>③意識改革が必要。特に子ども。家庭生活に男女共同参画の意識を取り入れることで、課題の解消につながるのでは。</p> <p>④家庭生活の中で、実際に行うことが大切。昔のような大家族ではなく、親と子、もしくは夫婦だけという小さな単位になってきている現代であれば、意識の伝達がしやすいのではないか。家の中と社会を区別して考え、まずは家の中で協働の意識を持つことが大事だと思う。</p>
A 班意見	<p>①女性の方が家事を全般的に行っている。</p> <p>②昔は、女性が家事の主体でも良かった。男性が仕事、女性が家事でも問題なかったが、今は共働きの時代なので、それでは上手くいかない。その上、男性側に家事のスキルがなく、女性側も男性に任せられなくてやってしまう、そういうところが良くなかった。</p> <p>③今は市のファミリーサポートや学童など、制度が昔に比べて充実している。そういったサービスを活用しながら協力していく。男性のスキルがない問題については、市で料理や家事の教室などをやってもらったらよいのではという意見もあった。</p> <p>④教育が大事。夫婦や家族の対話が重要で、日本人の所謂「察して文化」ではちゃんと伝わらないので、「ありがとう」などの気持ちを伝え合うことが大事だと、教育として伝えていくとよいと思う。</p>
会長	<p>それぞれの班で活発なご意見を交わすことができ良かったと思います。この場に参加されている方は、男女共同参画についてそれなりの意識をもって参加されていると思いますが、やはり普通のご家庭となるとまだまだ男女共同が進んでいないと感じますね。</p> <p>教育はとても大事でして、戦後に一番男女共同が進んだのは教育の世界です。しかし、その世界でも男女の差というものはあります。ランドセルの色一つでもそうですが、女の子は多様性がありますが、男の子はそうではない。男性は仕事一筋、一本道であるという先入観が親の側にもあります。アンコンシャス・バイアスといって、知らず知らずのうちに男は男、女は女という意識があるので、その意識を認識していく必要があると思います。</p> <p>一つ資料を紹介しますが、「あいち女性面白マップ 2021」という地域の女性のエンパワーメントを数値としてまとめたもので、こちらの中の愛知ジェンダーエンパワーメント・ランキングでは愛西市は 18 位となっています。まちとして頑張っている方であるという状況ですが、今日の話し合いによってより愛西市の男女共同参画が進み、少しずつ数値に変化が出てくるのでは</p>

事務局	<p>ないかと期待しています。</p> <p>5. その他</p> <p>次第5の「その他」として事務局からご案内します。</p> <p>次回の懇話会は秋頃を予定しております。</p> <p>連絡事項については以上です。</p>
会長	<p>その他について、ご質問などありますか。もしくは、委員の皆様から何かありますか。</p>
会長	<p>なければ、以上で、本日の懇話会を閉じさせていただきます。</p> <p>お疲れ様でした。</p> <p>〈閉会〉</p>